

# 草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(行政)

## ■協働事業概要

|          |   |
|----------|---|
| 事業名      | 草津市ひとり親家庭ホームフレンド事業  |
| 市担当課     | 子ども家庭課  |
| 団 体      | 草津市 BBS 会   |
| 事業内容     | ひとり親家庭の児童の心の支えとなるとともに児童の自立心を養い、ひとり親家庭の福祉の増進と児童の健全な育成を図ることを目的として、ひとり親家庭の児童が気軽に相談できる大学生等を市が派遣する。                              |
| 実施形態     | <input checked="" type="checkbox"/> 協働契約 / <input type="checkbox"/> 協働協定 / <input type="checkbox"/> 協力 (※当てはまるものに○をしてください。) |
| 実施(契約)期間 | 平成25年7月9日～平成26年3月31日 【継続事業・ <input checked="" type="checkbox"/> 新規事業】   |
| 予算額      | 200,000円  |
| 実 績      | 派遣49回   |

## ■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない  
「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

|                                       |   |  | 評価欄 |
|---------------------------------------|---|--|-----|
| 事業<br>成<br>果<br>や<br>波<br>及<br>効<br>果 | 1 | 事業の成果目標は達成できましたか。                                | 3   |
|                                       | 2 | 協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。            | 1   |
|                                       | 3 | 協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。             | 2   |
|                                       | 4 | 事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)            | 2   |
|                                       | 5 | 市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。 | 2   |
|                                       | 6 | 経費の見積もりは適切でしたか。                                  | 2   |
|                                       | 7 | トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。                     | 2   |

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理 由                           |
|----|-------------------------------|
| 5  | 著作物はないため                      |
| 9  | 対象家庭への個別派遣のため、活動団体以外には依頼しないため |

## ■成果と課題点【公開】

| 協働することで成果があった点  | 課題点   |
|---|---|
| ホームフレンドのきめ細やかな対応や、児童とホームフレンドの間で約束やルール作りが行われる等、児童の健全な育成に関わるような事業の成果が出ている点。 | 保護者の方の要望(保護者が児童をみることができない間にホームフレンドに来てほしい)に対し、安全性の確保のため応じられない状況がある点。 |

# 草津市市民まちづくり提案事業協働事業評価シート(NPO)

## ■プロセス評価

評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった 4:できなかった 5:該当しない  
「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

|                           |   |  | 評価欄 |
|---------------------------|---|--|-----|
| 事業<br>成果<br>や<br>波及<br>効果 | 1 | 事業の成果目標は達成できましたか。                                | 2   |
|                           | 2 | 協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。            | 2   |
|                           | 3 | 協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。             | 1   |
|                           | 4 | 事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)            | 1   |
|                           | 5 | 市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。 | 1   |
|                           | 6 | 経費の見積もりは適切でしたか。                                  | 2   |
|                           | 7 | トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。                     | 2   |

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理 由                     |
|----|-------------------------|
| 5  | 成果は形のないもので、著作物等はなかったから。 |

## ■成果と課題点

| 協働することで成果があった点  | 課題点                     |
|---|-------------------------|
| どちらか一方では思いつかないことでも、協働し、意見を出し合うことで新たな発見ができた。子ども家庭課の方が随時相談にのって下さったので、安心して取り組めた。 | 我々を守るための規制が活動に限界を作っている。 |